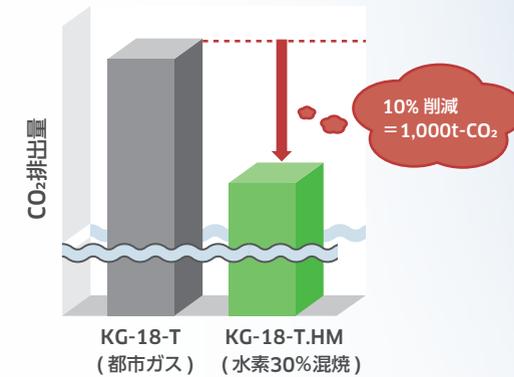


水素30%混焼対応 グリーンガスエンジン KG-18-T.HM

水素混焼により、発電時における
CO₂排出量の削減に貢献します

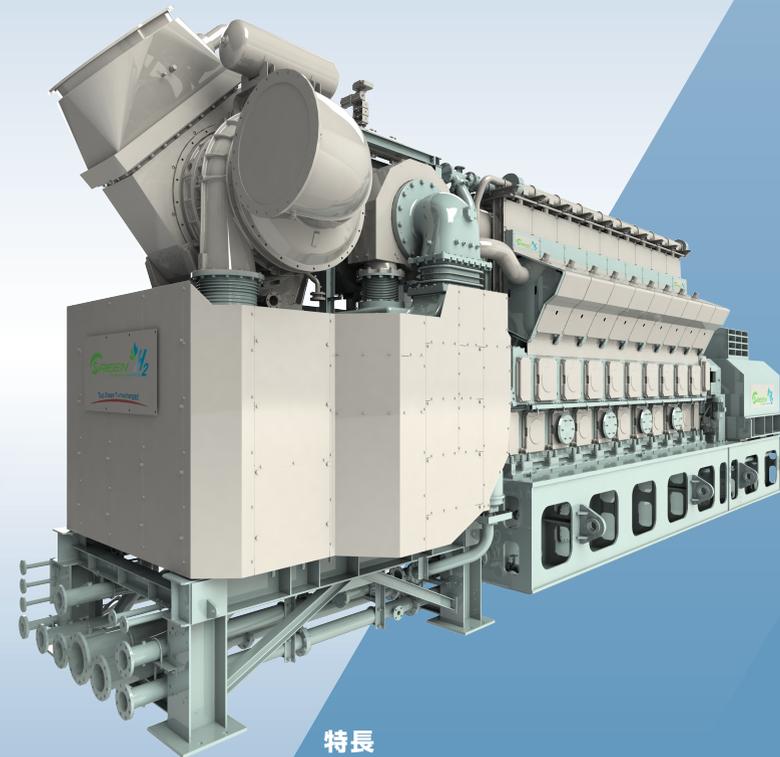
水素混焼により、従来の当社製天然ガス専焼ガスエンジン (KG-18-T) に比べ、CO₂排出量を約10%削減しました。

※水素30%混焼、定格出力にて年間4,000時間運転した場合



2025
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

川崎重工業株式会社



製品紹介

KG-18-T をベースとし、体積比率で水素 30% を混合した燃料の適用を可能としたガスエンジン

特長

- 世界最高レベルの発電効率
- 5~30vol%の任意の水素割合で運転可能
- 天然ガス (都市ガス) でも運転でき、燃料供給状況にあわせ、フレキシブルに運用できます
- 納入済で天然ガス専焼として運転開始しているガスエンジンに対し、最小限の改造工事 (レトロフィット工事) により、水素混焼化も可能